



# 徳川美術館 名品コレクション展示室

令和2年 9月24日(木)～12月13日(日)

凡例：○は重要美術品を示します。

展示期間 A:9月24日(木)～10月20日(火) B:10月21日(水)～11月17日(火) C:11月18日(水)～12月13日(日)

## 【第3展示室】

## 大名の室礼 - 書院飾り -

No.	名 称	作者・所用者・所蔵者など	時代	世紀	期間
広間					
押板飾り					
1	○ 仙人・山水図 三幅対	狩野幸信筆 転陵院好君(尾張家9代宗睦正室)所用 個人蔵	江戸	18	A
2	○ 達磨図・政黄牛・郁山主図 三幅対 名物	無準師範筆・同賛 成瀬正虎(犬山成瀬家2代)・徳川光友(尾張家2代)所用	南宋	13	B
3	釈迦・寒山・拾得図 三幅対	伝雪舟等楊筆 成瀬正肥(犬山成瀬家9代)所用	江戸	17	C
4	青磁燭台		明	16	
5	青磁菊花文三ツ足香炉		元	14	
6	青磁竹節文中蕪形花生		南宋-元	13-14	
7	堆朱椿文香合 彫銘「楊茂造」		明	16	AB
8	堆朱椿文香合		明	15-16	C
9	火道具		江戸	18	
10	古銅饗養文分銅形花生 一对		明	15-16	
違棚飾り					
11	古銅鴨香炉		明	14-15	
12	吉祥文玉石堆錦手箱		明-清	17	AB
13	山水時絵沈箱		江戸	18	C
14	青磁菊花文盤		明	14-15	
書院床飾り					
15	堆黒屈輪文軸盆		明-清	15-16	AB
16	螺鈿人物図軸盆		明-清	16-17	C
17	古銅雨龍形筆架	徳川義直(尾張家初代)所用	明	16	
18	硝子柄刀子 附 黒漆箔押革鞘		東南アジア	17	A
19	雨龍透彫刀子 銘 康継作之		江戸	17	BC
20	靈芝柘榴椿文角軸筆		明	16-17	AB
21	雲龍文彫木黒漆軸筆		明	16-17	C
22	蠟石羅漢形文鎮		明	16-17	
23	古銅鴛鴦形水滴		明	16-17	
24	建安瓦硯	伝古田織部・徳川家康・徳川義直(尾張家初代)所用	明	16	
25	蠟石楼閣山水図硯屏		江戸	18	A
26	染付唐草文箔絵月に兔図入硯屏		明	16-17	BC
27	紫石卦算 二本一对		江戸	19	
28	堆朱松下人物図印籠・堆朱唐花文盆		明	16-17	A
29	堆朱人物虎図印籠		明-清	17-18	BC
30	金銅仙蓋瓶形水注	徳川義直(尾張家初代)所用	明	15	
31	堆朱松下人物図盆		明	15	A
32	堆黒唐花文盆		江戸	17	BC

## 鎖の間

上段の間		【第3展示室の見どころ - 鎖の間 -】 天井から炉の上に鎖を吊って釜が掛けられるようにしてあったところからこの名がある。この部屋では四季を通じて釣釜がもちいられた。茶室と書院（広間）の中間に位置する座敷で、性格的には書院に属し、接待などに半ば公式的に使われた。				
1	滑原円硯		高麗	13-14		
2	古銅雨龍形筆架		元	14		
3	黄銅葵紋唐草彫台子皆具 一式		江戸	19		
4	唐物達磨茶入		南宋-元	13-14		
5	建蓋天目		南宋	12-13		
6	堆朱屈輪文天目台		明	15		BC
7	明正天皇仮名消息 大納言宛		江戸	17		A
8	福祿寿図		徳川綱吉(5代将軍)筆 津田昌明氏寄贈	江戸	17	B
9	三大字「懐明德」		徳川綱吉(5代将軍)筆	江戸	17-18	C
10	唐銅玉取獅子香炉			江戸	18-19	
11	堆黒屈輪文花台 一对の内		江戸	17-18		
次の間						
12	籬に秋草文芦屋甌口釜		室町	15-16		
13	唐物自在釜掛		明	16		
14	備前火襷水指	岡谷家寄贈	江戸	17		
15	一閑張菊蒔絵棗	飛来一閑(初代)作 伝千宗旦所用 高松家寄贈	江戸	17	AB	
16	藤重中次 彫銘「藤重造」	藤重藤巖作	江戸	17	C	
17	染付遊牛図茶碗		明	17		
18	砂張建水	近藤家寄贈	東南アジア	17-18		